

一般会計予算499億円 皆さんの税金の使い道が決まりました

一般会計		499億円
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	131億 6,700万円
	国民健康保険特別会計(施設勘定)	11億 2,900万円
	後期高齢者医療特別会計	10億 6,000万円
	介護保険特別会計	86億 8,900万円
	農業集落排水事業特別会計	13億 7,000万円
	公設地方卸売市場特別会計	4,320万円
企業会計	水道事業会計	31億 7,179万円
	下水道事業会計	51億 1,558万 8千円
	病院事業会計	4億 3,954万円
総 額		840億 8,511万 8千円

当市の将来都市像である「うるおいとにぎわいのまち東近江市～鈴鹿から琵琶湖の恵みを生かし人が輝くまちづくり～」の実現に向け、過去2番目の大規模な予算が提案されました。議会では各委員会で審議を行い、すべての予算案を原案のとおり可決しました。その中から、事業の一部を紹介します。

民生費
184億4,992万円

学童保育所施設整備及び運営事業 4億2,117万円
保育士確保事業 374万円
病児保育室の増設 2,335万円

総務費
52億5,917万円

中心市街地の活性化事業 1億3,209万円
空家等対策事業 2,870万円
定住移住推進 9,256万円
バス・鉄道路線維持費 2億744万円

教育費
53億3,018万円

小・中学校施設整備 13億8,538万円
小・中外国語教育の充実 7,148万円
社会体育施設改修工事 7,570万円

衛生費
46億2,262万円

介護予防・日常生活支援総合事業 2,018万円
新生児聴覚検査費用助成事業 220万円
歯科保健事業 559万円
保健センター整備工事 2億1,600万円

消防費
17億5,771万円

消防自動車購入・消防施設整備事業 2,750万円
防災情報告知放送システム整備事業 1億2,454万円
東近江行政組合常備消防負担金 14億1,067万円

商工費
5億8,159万円

観光費 6,699万円
地域おこし協力隊委託料 800万円
企業立地促進対策事業 1億2,691万円

土木費
41億7,213万円

道路整備事業 14億6,324万円
市営新大森団地改築工事 1億8,502万円
河川改良事業 1,340万円

その他

労働費 9,874万円
議会費 2億7,771万円
公債費 62億7,139万円
諸支出金 4億3,917万円
予備費 5,000万円

農林水産業費
25億8,965万円

水田野菜等振興事業 3,000万円
世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業 3億370万円
有害鳥獣対策 5,273万円

平成29年度当初予算の討論

反対討論

田郷 正議員

29年度予算案は、2月の市長選挙を控えて、骨格予算とすべきであるものが、市長の想いを全て組み込んだ政策予算となった。

市長選の無投票が予想されていたとしても、謙虚な姿勢で骨格予算とすべきもので、市長のおごり、「傲慢な政治姿勢」の表れに他ならない。当初予算は499億円と大型で、市債残高は596億円となり、市民1人当たりの借金残高は51万8千円にもなる。一方、積立基金は224億5千万円にまで減少している。

借金による中心市街地活性化計画や市街地の道路工事などの街路事業は見直し、また、駅前ホテル等体力のある大企業や富裕層の応援はやめ、待機児童解消や農業の担い手支援等、市民生活を支え、基幹産業である農業の発展に力を注ぐ予算とすべきと考え、反対。

賛成討論

周防 清二議員

29年度予算案は厳しい財政状況ではあるが、「東近江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「第2次東近江市総合計画」の各施策を実現すべく

- ・ 中心市街地の活性化
- ・ 観光戦略
- ・ 定住移住の推進
- ・ 子育て支援
- ・ 都市基盤の整備

に対し、重点化を図っている。東近江市が持つ地域資源を最大限活用し、市の魅力を高め、住み続けたい、住んでみたいと思ってもらえるまちづくりを進めることで、人口減少社会に歯止めをかけるという政策の意図が見える予算案である。

また、小椋市政の1期4年間の実績をベースに、創生総合戦略をさらに深化させていく予算であると確信し、本案に賛成。